

整理番号 00565

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Coal Reference Material

石炭標準物質

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的有害性 : 分類されていない

健康に対する有害性 : 分類されていない

環境に対する有害性 : 分類されていない

ラベル要素

絵表示 : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き

安全対策 : 産業衛生に気を配る

応急措置 : 使用後は手を洗う

保管 : 混触危険物との接触を避ける

廃棄 : 内容物、容器の廃棄は国、地方自治体、国際規則に従って行う。

その他の情報 : 混合物成分の 100%は急性経口毒性、急性経皮毒性、水生環境において未知の成分である

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	石炭	報告可能レベル以下のその他成分
成分及び含有量(wt%) *	90-100	<0.1
化学式又は構造式	未指定	
官報公示整理番号		
化審法	対象外	
安衛法	対象外	
P R T R 法	対象外	
C A S No.	125612-26-2	
国連番号及び国連分類	該当しない	

*特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、症状が深刻な場合は医師を呼ぶ。
皮膚に付着した場合	水、石鹼で洗い流す。炎症が悪化・継続する場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合	目を洗う。炎症が悪化・継続する場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	意識の無い場合は無理に吐かせず、口には何も与えない。気分が良くない場合は医師の診察を受ける。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状	眼への直接の接触は一時的な炎症のおそれ。
医師に対する特別な 注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	泡、ドライケミカル、CO ₂ 、周辺の物質に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	水噴射をしない。火災を拡散するおそれがある。
火災時の特有の危険有害性	火災時、有害なガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
一般的な火災危険	異常な火災や爆発は予期されない。
特別な手法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	十分換気する。蒸気、フューム、ダスト、ミストの吸引を避ける。清掃時は適切な保護具、保護衣を着用する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	掃き集め又は掃除機を用いて適切な容器に集めて廃棄する。廃棄物処理については13項を参照。
環境に対する注意事項	環境への排出を避ける。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	専用の容器に入れてふたをし、換気の良い場所で保管する。混触危険物との接触を避ける(10項参照)

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)	暴露限界値は定められていない。
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分に喚起し、取り扱いや熱処理中に生成される恐れのあるダストやフュームの堆積を避ける。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合適切な呼吸器を着用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	常に手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物質の状態	固体
形状	粉末
色	黒色、ダークブラウン
臭い	入手不可
臭気限界	入手不可
pH	入手不可
融点・凝固点	入手不可

沸点、初留点と沸騰範囲	入手不可
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	
爆発性状	爆発性はない
酸化特性	酸化作用はない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送下では安定で反応性はない。
化学的安定度	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用下で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	熱、スパーク、裸火、その他の着火源。混触危険物との接触
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	二酸化炭素

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸入	呼吸器炎症のおそれ。
皮膚	皮膚接触による悪影響は予期されない。
眼	眼への直接接触は一時的な炎症のおそれ。
飲み込んだ場合	飲み込む可能性は低い。
毒物学的影響	

急性毒性	知られていない。
皮膚の腐食/刺激	長期的な接触は一時的な炎症のおそれ。
重篤な眼の損傷/眼刺激	直接の接触は一時的な炎症のおそれ。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	本製品の環境有害性は分類されていないが、多量または度重なる流出が悪影響を及ぼさないとは限らない。
残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の蓄積性	データなし
その他の有害影響	本製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

データなし

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
消防法	非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
国連番号	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
港則法	非該当

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(040417)	: LECO Corporation
	JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、 作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場のあんぜんサイト	: 厚生労働省

作成 : 平成 30 年 11 月 14 日

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
- 尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。